

# 平成27年度第3回中仙地域協議会会議録

平成27年 8月 7日

中仙地域協議会

## 平成27年度第3回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■協議	4
(1) 大仙市地域公共交通に係る意見書の提出について	4
(2) 地域枠予算事業について	5
■その他	11
■閉会	13
■署名	13

■日 時：平成27年8月7日（金）午後2時

■会 場：中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

■出席委員：13名

秋 山 康、遠 藤 まき、金 子 美喜男、草 薙 幸 隆、  
児 玉 誠 良、高 橋 一、佐々木 正 一、高 橋 久 逸、  
高 橋 成 悦、玉 井 勝 壽、傳 農 富士夫、松 塚 勝 男、  
柳 田 ト シ

■欠席委員：5名

熊 谷 亮、佐々木 亨、柴 田 真希亜、高 橋 泉、  
寺 田 文 夫

■出席職員：6名

高橋 利省（中仙支所長）	伊藤 政子（市民サービス課長）
佐藤 吉一（農林建設課長）	草薙 栄良（中仙公民館長）
山信田 恭弘（地域活性化推進室副主幹）	進藤 哲規（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
  - （1）大仙市地域公共交通に係る意見書の提出について
  - （2）地域枠予算事業について
- 6 その他
- 7 閉 会

(午後2時00分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○傳農中仙地域協議会会長 (以下「会長」と表記)

今回の豪雨災害につきましては、被害にあわれた方々には本当にお見舞い申し上げたいと思います。そしてまた、救護・復旧に関わりました市役所職員はもちろんのこと、消防関係者、また赤十字の方々も活躍されたということを開きまして、心より経緯を表したいと思います。最近、当地区にはそういった自然災害がなかったわけですが、今回は全国放映されまして、東京方面にいる兄弟・親戚からお見舞いの電話などをいただきました。こういった災害は予測できないものでございまして、常に心がけておりますけれども、このようなこともあるということ身をしみておきたいと思っております。

今日は、こういった暑さの中、13名と多くの皆さんからお集まりいただきましてありがとうございます。

本年も半期を過ぎようとしているわけですが、この後、8月16日のドンパン祭り、そしてまた9月15日には敬老会が予定されてございます。市役所の職員はもちろんのこと、関係各位の方々にはボランティア的にご協力をいただいておりますが、今後ともよろしくお願い申し上げたいと思っております。

今日の案件は、皆さんのお手元にあるとおり公共交通に関わる案件と地域予算の関係でございますが、皆さんから忌憚のないご意見をいただき、良い方向にもって行きたいとおもいます。

今日は市の幹部職員の方々にはお忙しいところお出でいただきましてありがとうございます。開会にあたりご挨拶させていただきました。ありがとうございました。

○高橋中仙支所長 (以下「支所長」と表記)

本日はご多忙中のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。この機会に、中仙支所管内の状況についてご報告させていただきます。

始めに、7月25日から26日にかけて発生した豪雨災害についてでございます。前日24日から降り続けた雨が強まり、25日土曜日の午後2時40分頃、清水金鑑地区で芥内川の堤防が決壊いたしました。大仙市では午後1時に豪雨に備えた災害対策本部を立ち上げていた中での出来事で、すぐに関係地区に避難指示を出し中仙農村環境改善センターに避難所を開設しました。

避難所には、自主避難者を含め10世帯25名が避難し、日赤奉仕団による炊き出しのほか、保健師などが避難者の健康管理や相談の対応にあたりました。

避難指示は、翌日26日の午前8時に解除され、避難者は朝食のあと、無事全員自宅に戻っております。

被害の状況ですが、床上浸水1世帯、床下浸水6世帯のほか、豊岡地区の簡易水道2か所で河川の水が濁ったことにより取水停止、市道・林道の土砂崩れによる通行止め、農地・

水路への土砂の流入が各地で発生しております。農作物については、水に浸かった所がありますが被害としてはまだ集計されておられません。

被害の復旧状況につきましては、簡易水道は断水や給水制限を防ぐため、深夜まで取水地への給水作業にあたり、うち1か所は28日火曜日まで給水作業が続きました。道路では片側通行など早急に仮復旧にあっておりますが、本復旧は、水路の小規模災害への補助などと合わせて今後、補正予算で対応していきます。

今回の堤防の決壊は全く想定外でしたが、人的な被害がなかったこと、家屋も倒壊など甚大な損害が無かったことが、不幸中の幸いでした。今回の水害を教訓に、日頃から災害に対する備えを整えなければと感じているところです。

次に、これまでご承認いただいた地域枠予算事業の状況をご報告させていただきます。類型Ⅰ型では、豊川小学校相撲場土俵表面補修事業が完了し、「わんぱく相撲豊川場所」が28日に開催されております。類型Ⅱ型では、コミュニティづくりレクリエーション開催支援事業、鶯野分館敷地支障木伐採支援事業、長野地区子供会育成会親子花壇づくり支援事業の3事業がそれぞれ完了しております。これまで承認いただいた12事業のうち5事業が完了、7事業は継続中となっております。

次にその他の動きでございますが、6月24日に大仙市議会の「市政懇談会」が開催されております。担当議員5名のほか中仙地域の議員も全員出席。参加者は市民・職員を合わせて20名余りで、内容につきましては、議会だより等で報告されると思います。

6月28日の日曜日、大仙市中仙地域消防訓練大会が、小雨が降る肌寒い天候の中、ドンパン広場を会場に実施されました。小型ポンプの部では、第3分団第2部が1位、規律訓練の部では、第1分団が1位で、総合の部では第3分団が1位となっております。

小型ポンプ、規律訓練の1位チームは、7月18日の土曜日に実施された大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場しております。成績は、小型ポンプの部が4位入賞、規律訓練の部は出場14分団中9位となっております。

7月12日日曜日に、26回目の「ドンパンふるさと中仙会」総会が東京品川のグランドプリンスホテル新高輪で開催され、参加者は67名でした。当市関係では、老松副市長、小山緑郎議員、佐藤育男議員、秩父博樹議員、当支所からは私を含め職員3名が出席し、総会終了後はアトラクションなどがあり楽しい雰囲気の中、盛会裏に終えております。特産品の販売も好評のようでした。

前後しますが、7月4日に自由民主党の農業戦略現地視察団が大仙市を訪れ、農地中間管理事業に関連した金鑑地区の基盤整備と園芸メガ団地を視察しております。自民党からは二階総務会長、西川農林水産戦略調査会長（元農水大臣）、御法川衆議院議員など国会議員7名、農林水産省本省から5名など総勢80名以上が参加する中、農村環境改善センターで意見交換も行われました。大仙市の取り組みを直接確認していただいたほか、農家の要望も真剣に聴いていただくことができました。

この園芸メガ団地につきましては、既に出荷作業も進められており、竣工式が8月3日に行われております。

8月に入りまして、猛暑がぶり返しておりますが、16日のドンパン祭りの成功に向け

て最後の段階に入ったところであります。

以上、説明させていただきましたが、委員の皆様には今後とも様々なご助言やご指導を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは本日の協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により傳農会長にお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は秋山康委員と柳田トシ委員にお願いいたします。

それでは次第5の「協議」に入ります。

はじめに（1）の「大仙市地域公共交通に係る意見書の提出について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【大仙市地域公共交通に係る意見書の提出について、資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局のほうから説明がありましたが、皆さんから意見をこのように取りまとめたわけですが、これに対して皆さんからのご意見・ご質問を承りたいと思います。

○高橋成悦委員

地域外への乗り継ぎというのは、隣接する仙北地域や太田地域という意味でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

そのとおりです。

○高橋成悦委員

先日、市全体の公共交通の会議に参加しましたが、西仙北地域の土川から生活の利便性の観点から中仙イオンなどへの運行の要望があるようです。中仙タクシーのほうにも話がされているとおもいますが、どうですか。

○児玉誠良委員

要望としては入ってきていますが、具体的な話にはまだなっていないようです。

○高橋成悦委員

地元ではアンケートをとって概ね良好という結果だと聞いていますが、いつ頃という具体的な話はあるのかなと思って。前向きに検討するという話だったようなので。清水のほうもあると思うのですが、そちらはアンケートでは鉄道もあるし国道も近いのでいないという話だったようですが。

○伊藤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

仙北地域の乗合タクシーに去年から万願寺の方々が利用できるようになっていました。それまでは仙北地域の住民しか利用できませんでしたが、万願寺のすぐ近くまでタクシーがきているということで、要望があり利用できるようになりました。

土川のことですが、アンケートをとりましてこれから具体的に話を進めていく予定です。西仙北地域から病院やイオンでの買い物など、中仙地域の利用者は結構いるようで要望があげられました。また、土川からの途中経路に立石地区があるので、では立石地区でどのくらいの需要があるのかということでアンケートをとってみたのですが、思ったよりも利用希望者は多くありませんでした。ただ、実際に運行すると利用者が増えるのかなと思っています。この件についてはアンケート結果も出揃っていますので仙北地域・西仙北地域との話し合いを行い、早々に進むのではと考えています。

○会長

他にございませんか。特にないようですのでこの意見書で承諾いただいて市に提出してよろしいでしょうか。

（異議なし）

ご承認いただきありがとうございました。

それでは協議（２）の地域枠予算事業について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【地域枠予算事業について、資料に基づき説明】

・実施類型Ⅰ型

1. 「著名人に生き方を学ぶ集会」開催事業

事業目的 中仙地域の小中学生及び市民を対象とした講演会を開催する。今年アルピニストの野口健氏を迎え、夢を持つことの意義、目標達成までの道のりや達成の喜びなど、自身の体験をもとに講話をお願いするもの。これにより心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成を図る。

また、地域児童生徒の健やかな成長のため、学校と地域、保護者との一層の連携を図る。

事業概要 講演会の実施

・日時 平成27年10月26日(月)午後1時30分より  
・場所 野口 健(アルピニスト)  
・演題 「富士山から日本を変える」  
・対象 地域内の小学生(5・6年生)、中学生及び一般  
事業費 716,500円(旅費・委託料)

・実施類型Ⅲ型

1. 豊成地区花いっぱい運動事業費補助金

申請団体 大仙市立豊成中学校

事業目的 豊成地区の小・中学校では、平成26年度から県教育委員会指定の「小・中連携実践研究モデル事業」を実施。この一環として、小・中学校の児童・生徒が連携して「花いっぱい運動」に取り組むことにより、花の水やりや除草などをとおして、学校や周辺環境を整える意識と、地域への誇りや愛着を持つ心を育てることを目的とする。

また、「小・中連携実践研究モデル事業」の成果を発表する研究会で、県教育委員会・市教育委員会をはじめ全県から訪れる教育関係者を沢山の花で歓迎することができる。

事業概要 花苗のプランター等への移植及び水やり

・時期 9月中旬

・対象 豊川小学校(3~6年、42名)

豊岡小学校(3~6年、50名)

豊成中学校(1~3年、79名) 合計171名

補助金額 250,000円

・事業費 300,000円(消耗品費:花苗、土、プランター、鉢底石等)

・補助金額 300,000円×5/6=250,000円

2. 長野駅前余興舞台公演事業費補助金

申請団体 長野駅前余興舞台公演実行委員会

事業目的 長野神社祭典に併せて羽後長野駅前に設置される余興舞台は、長年継続開催され、毎年多くの来場者で賑わう地域に根ざした行事となっている。地域に伝わる文化の継承及び地域住民が集うコミュニティの醸成を図ることを目的に、余興舞台公演に係る経費の一部を補助する。

事業概要 余興舞台公演

・日時 平成27年9月10日(木)・11日(金)

・会場 羽後長野駅前広場

補助金額 100,000円

・事業費 518,000円(余興費:公演・音響・照明・ステージ・発電機等)

・補助金額 518,000円×5/6=431,000円(限度額300,000円)



300,000 円 - (自己資金) 200,000 = 100,000 円

### 3. 元町余興舞台公演事業費補助金

申請団体 元町余興舞台公演実行委員会

事業目的 長野神社祭典に併せて元町町内に設置される余興舞台は、長年継続開催され、毎年多くの来場者で賑わう地域に根ざした行事となっている。地域に伝わる文化の継承及び地域住民が集うコミュニティの醸成を図ることを目的に、余興舞台公演に係る経費の一部を補助する。

事業概要 余興舞台公演

・日時 平成27年9月10日(木)・11日(金)

・会場 元町地内

補助金額 70,000 円

・事業費 490,000 円 (余興費: 公演・音響・照明・ステージ・敷地借上等)

・補助金額  $490,000 \text{ 円} \times 5/6 = 408,000 \text{ 円}$  (限度額 300,000 円)

300,000 円 - (自己資金) 230,000 = 70,000 円

#### ○会長

ただいま事務局より説明がありましたが、1件ごとに皆さんからご意見をいただきたいと思えます。

最初に実施類型Ⅰ型の「著名人に生き方を学ぶ集会」の開催事業でございます。事業費 716,500 円です。皆さんからご意見を承りたいと思えます。

(異議なし)

異議がないようですので申請どおり認めたいと思えます。ありがとうございました。

次に実施類型Ⅲ型でございますが、「豊成地区花いっぱい運動事業費補助金」でございます。申請額は 250,000 円です。ご意見ございませんか。

#### ○金子美喜男委員

県の事業を実施してということのようですが、30万円の事業費のうち補助金以外の5万円はどこからでるのでしょうか。

#### ○事務局(地域活性化推進室)

残りの5万円は豊成地区の小学校2校、中学校1校でそれぞれ負担するということでございます。

#### ○金子美喜男委員

行政と一緒にやる事業であるならば、以前承認した中仙庁舎西側等の環境美化運動のように学校に負担させないようにしてⅡ型とし、30万円全額を補助するほうがよいのでは

ないですか。Ⅲ型だとすれば学校側に負担が生じるわけで、県のモデル事業に伴うものであるとすれば全額の補助でもいいのではないかと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

県の指定を受けたモデル事業に関連はしますが、関連校が共同で独自事業として行いたいとして申請がされております。この事業には学校のほうにも活動費がありまして、そのうえでいくらかでも市から支援していただきたいという申請でございました。

○会長

学校としては市になるべく負担をかけないようにとの善意なのでしょうが、やはりⅡ型とするのは難しいのでしょうか。

○金子美喜男委員

市としても応援するべきではないでしょうか。

○会長

今回に関しては、学校のほうでも負担するということですので、次回からはⅡ型というのも検討してみたいと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

花を植えるという事業なのですが、やはり他の類似の活動との整合性をとらなければなりません。また、今回の事業は今年に限った取り組みということでしたのでⅢ型での申請を受けましたが、今後、継続して実施していくということになれば市の関わり方について検討したいと思います。

○会長

よろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは申請どおり認めることといたします。

次に「長野駅前余興舞台公演事業費補助金」と「元町余興舞台公演事業費補助金」の2つですが、同じ内容ですので2つ合わせて皆さんからご意見を伺いたいと思います。

こちらは新規の申請です。

○金子美喜男委員

長野のお祭りに関する申請ですが、二日町や新町、旭町など他の町内から申請がされた場合、すべて認めるのかという話になるかと思います。また、豊岡・豊川・清水などからも同様の申請がされた場合も助成していくのかと。

○会長

今年はこの2つでしょうけれども、来年度他からも申請がされた場合にどうするのかということだと思えます。

○事務局（地域活性化推進室）

お祭りに関しては個別に判断していくしかないのかなと思っています。市では神社・仏閣に関する事業には関わることはできません。ただ今回の申請は、お祭りにあわせて開催はしていますが、余興舞台ということで別個に実施しているということ、町内以外からも人がきて交流が生まれ地域活性化になるということを総合的に判断して支援すべきということで申請を受けました。

来年以降、他の地区からも同じような申請があれば、予算や事業などを見ながら個別に判断していかなければいけないと思っています。

○佐々木正一委員

予算があるのであれば、地域を活性化させるためにもお祭りをやるところに支援していくべきでは。

○金子美喜男委員

その気持ちはわかりますが、来年次々と申請がされた場合に、この町内がもらえてこちらがもらえないということが起きてしまうのではないか。お金を出す以上、平等性が必要なのではないか。

○事務局（地域活性化推進室）

目的としては地域枠予算に合致していますので、申請がされれば同じ基準で審査することになります。

○児玉誠良委員

昨年、駅前町内会から長野の各町内会に余興舞台のための寄付のお願いがありまして、昨年は各個人個人で寄付をしました。しかし、部落の総会では長野のお祭り自体にお金を払っている関係上、だせないということに決まりました。

○会長

駅前町内会の余興舞台に対して立石部落に寄付のお願いがあったということですか。

○児玉誠良委員

立石部落では個人個人で寄付を出しました。

○佐々木正一委員

私の聞いた話では、やはり負担が大きくて長野の地区の人たちから少しでも協力をもらえればなというこのようです。

○松塚勝男委員

私自身、お祭りに関しては思いがあるのですが、世の中がだいぶ変わってきたように思います。昔は、舞台をみんな楽しみに来ていたのですが、時代とともに色々な娯楽が出てきて若い人が見なくなり、人が少なくなってきているようです。このような状態で余興舞台にそれだけの価値があるかどうか。私たちの年代が集まればやってみるかという話ではありますが、それだけお金がかかることで、町内会で負担するのも大変です。私の町内では1世帯15,000円程度をお祭りのために集めています。このような状況ですので補助がでるとすれば大変いいことだと思います。

○会長

このような事業は、実施すること自体が大変なことです。どこもやりたいけどやれないというのが現状だと思います。

○金子美喜男委員

良いことであるのは間違いないので、継続して出していけるかどうかを今後、検討してもらいたいと思います。

○佐々木正一委員

私も強く要望したいと思います。

○会長

数年前に、鶯野の和村・遠藤という部落で夏祭りをやろうということで出したことがありました。その際に話題になったのが、他の部落でもやった場合にどうするかという意見がでました。しかし、どこからも出てきませんでした。要するにどんな事業をやるにしても、手を上げること自体が今は難しいということです。

事務局からも説明がありましたが、市のほうからも補足説明ありませんか。

○支所長

各地域でお祭りをきっかけにして盛り上がってくださるということは、大変うれしいことです。今年は2ヶ所でしたけれども、これが3ヶ所4ヶ所と増えていくということは、地域枠予算の目的とするところの1つでもありますので、予算の総枠は限られておりますけれどもできる限り答えたいと思っております。ただ、神社に付随する事業につきましては、政教分離ということもございますので、あまり神社の色彩が濃いと難しい部分もあります。そこをしっかりと確認させていただきながら、提案させていただきたいと思います。

○会長

地域活性化推進室の室長も兼務している支所長からも力強い言葉がありました。やってみませんか。いかがですか。

(異議なし)

それでは申請どおり認めることといたします。

これで今日提案されました議事は終了しましたが、その他として皆さんからご意見をうかがいたいと思います。

○高橋成悦委員

今日の話とは違いますが、なにか豊川小の国旗掲揚塔の件で、市のほうに話はないでしょうか。

○草薙公民館長

その件については、豊川地区の運動会の際に壊れていて掲揚されなかったという話を聞きました。教育委員会の学校担当にも連絡していますし、学校担当のほうでも見に来ているはずですが、修繕については予算が関係しますので、今年中に行えるか来年度となるかは今の段階でははっきりしません。

○松塚勝男委員

掲揚塔のサイズ、長さについては3メートルとか5メートルとか、なにか基準があるもののでしょうか。

○佐々木正一委員

郡市の消防大会の時のように仮説の掲揚塔が使われているようなので、臨時であれば簡単なものでも問題ないのではないかと。

また、6月に鐘見内でも運動会を行ったが、掲揚塔がないので国家を歌う機会もなかった。予算がとれるようであれば簡易的なものでもよいのでなんとかできればと思います。

○会長

地域枠予算でできるかどうか検討してみてもどうか。

○事務局（地域活性化推進室）

その掲揚塔が公民館分館の財産となるようであれば、地域枠にちょっと馴染まないのかなと思います。

○会長

この件は検討課題として承っておきたいと思います。

6月に地域協議会の正副会長会議がございまして、全ての旧市町村から集まったのですが、その中で、市がやるべき事業に対してなぜ地域枠予算を使わなければいけないのかという意見がでました。地域枠の申請があまりなければⅠ型が増えてしまう傾向があるので、先ほど話題になったお祭りなど、Ⅱ型Ⅲ型を積極的に活用してほしいとの話がありました。また、FMはなびがはじまるのでぜひ聞いてほしいとの話もありました。

他にございますか。

#### ○草薙幸隆委員

今回、大雨の災害があったわけですが、あの雨の中でどこにも行かれないのでインターネットで状況を見ておりました。午後3時5分頃に全国的な掲示板で大雨災害情報が出た時には大仙市のホームページには情報がでていませんでした。実際にたのはそれから30分後ということです。地元で災害が起きている大仙市のホームページで30分遅れて情報がでたというのは非常にショックでした。市として災害対応がしっかり行われたのか検証してほしいなど。

#### ○遠藤まき委員

なかせんワイワイらんの保護者の方たちには午後1時頃には一斉送信メールで迎えるの要請があったそうです。斉内川が危ないのでということで。

#### ○支所長

今回の災害におけるホームページ等での緊急通報について、まだ検証したという話は届いていません。ただ、中仙支所に現地対策本部が立ち上がったところから考えますと、本庁にはホームページをアップロードできる職員がいなかったのではないかと思います。もちろんそれで良いということにはなりません。避難指示が出された段階でテレビのテロップで全国放送されたように、なんらかの形で災害本部に従事しない職員の配置も考えなければいけないと思います。今度からはFMはなびができましたので迅速な情報発信ができるのではないかと思います。

保育所に関しては、法人立ですので法人から連絡が行ったわけですが、情報については支所からも直接、増水しているので周囲を確認しながら早期に迎えに来てもらえるような対応をしてくださいという連絡はしております。こちらに関してはホームページとかではなく、直接電話で連絡しました。ですので、本当に必要なところには連絡がとれていたのではないかとはいえますが、いずれにしても今後検証がなされると思います。

#### ○玉井勝壽委員

斉内川は前にもくずれかかったことがある。元々弱いのではないかと。

○佐藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

今回決壊したのは以前手直ししたところではないところです。

○金子美喜男委員

決壊したところはまわりに比べて低くなっている。また、川の中に木があるので整備しなければ川幅が狭いことに加えて浅くなっている状況です。

○農林建設課長

今回は全国放送されましたので、国・県のほうでも調査しています。現在、仮復旧していますが、本復旧にむけての調査と合わせて行われるはずですが。

○金子美喜男委員

きちんと整備しないと、今回のような災害が起こった場合に現在の職員体制では大変なのではないかと心配しています。

○農林建設課長

一級河川ですので県のほうでもしっかり対応してくれると思います。

○会長

委員のほうから様々な要望がありましたので、市のほうには善処いただきたいと思えます。

他にございませんか。

（なし）

本日は長時間にわたり協議いただき、ありがとうございました。

（午後3時15分 閉会）

---

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

---

---